

頭部疾患の専門医として 地域住民の健康維持を見守りたい

やまさき脳神経外科クリニック

広島県広島市安佐北区落合5丁目24番8号
URL: <http://yamasaki-neurosurg-clin.com/>

脳卒中をはじめ、頭部外傷や頭痛、認知症、パーキンソン病などの神経慢性疾患を中心に、脳神経外科的な病気の診療を行う『やまさき脳神経外科クリニック』。地域の専門クリニックとして患者を最善の医療サービスへと導く窓口の役割も担う。本日は女優の島田陽子さんが同クリニックを訪問し、山崎院長にお話を伺った。



院長
山崎 弘幸

— 『やまさき脳神経外科クリニック』さんは、2017年4月のご開業と伺っています。ご開業されるまでの山崎院長の歩みからお聞かせ下さい。

『徳島大学』医学部を卒業後、徳島や福岡・大分といった九州の病院に勤務し、臨床経験を積みました。2007年からは、故郷である広島に戻り、地元の病院に勤務。当時は、開業は考えていませんでした。

— まぁ、それがどうして？

しかし、2年ほど前、勤めていた病院に出入りされていた製薬会社のMRさんの上司の方が、新たにクリニックビルが建設されるにあたって脳外科医に入ってほしいというお話を持ってこられました。断るつもりでしたが、偶然にもその方のお子さんが、私の娘と同級生で、母親同士が食事に行くような仲だったんですよ。それで、無下には断れず、話を聞いてみたくです。すると、ビルの場所が実家のすぐ近くで、自分にとって庭のような場所でした。そんな慣れ親しんだ土地を他の医者に譲ることに抵抗を感じて、開業を決意したんですよ。

— ご縁を感じるエピソードです。何か

に導かれるようにして、開業を果たされたのですね。地域のクリニックで、脳神経外科は珍しいように思います。

そうだと思います。それに、脳外科は内科などに比べると敷居が高いと言いますか、皆さんにとって身近ではないでしょう。それもあって、なかなか認知度は上がりませんでしたね。また、医師であると共に経営者なので、自分の言うことが絶対になります。その分、責任を伴いますから神経を遣う場面が増えました。まだまだ、慣れませんよ（笑）。スタッフのために仕事をしやすい環境を整え、そして患者様のために気軽に来院できる雰囲気づくりを心がけています。

— 主に、どういった症状に対応されるのですか。

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血といった脳卒中、認知症、頭部・顔面外傷などです。患者さんには、頭痛やもの忘れ、脳卒中、手足のしびれなどを訴えて来院される方が多いですね。慢性頭痛に悩む方も多く、また「たかが頭痛だから」と考えていると重大な支障につながりますから、気になることがあれば、気軽に受診して下さい。主として頭部外傷や脳出血の診断に使用するCT、脳卒中診断に使用するMRIを導入しており、検査結果について十分に説明した上で、治療が必要と思われた場合は、適切な治療を施させていただきます。

— 今後については、いかがですか。

地域の皆さんの頭に関わる症状に対応

し、お役に立てればと思っています。当クリニックで手術は行いませんが、手術や入院が必要な場合は、大きな病院をご紹介させていただくので、窓口としての役割も担っていきたいですね。また、将来的には治療だけではなく、認知症予防など啓蒙活動にも取り組んでいければと考えています。

(2018年4月取材)



今も月に1回、以前勤めていた病院に当直に行かれています。院長を必要とされる方がたくさんいるのですね。地域初の専門医だそうで、ご活躍が楽しみです！



島田 陽子